

福祉

わかやま



この広報誌の発行に
一部共同募金配分金
を利用しています。

特集
②③

コロナ禍における生活課題への取組
～コロナ特例貸付の成果と課題から社協の役割を考える～



④ 令和4年度和歌山県地域福祉フォーラム開催のご案内
・第34回全国健康福祉祭 神奈川・横浜・川崎・相模原大会
(ねんりんピックかながわ2022)のご報告

⑤ シルバー美術展開催のご案内
・苦情解決のツボ
・賛助会員募集のご案内

⑥ 地域福祉活動紹介
和歌山市 楠見地区民生委員・児童委員協議会
・赤い羽根共同募金

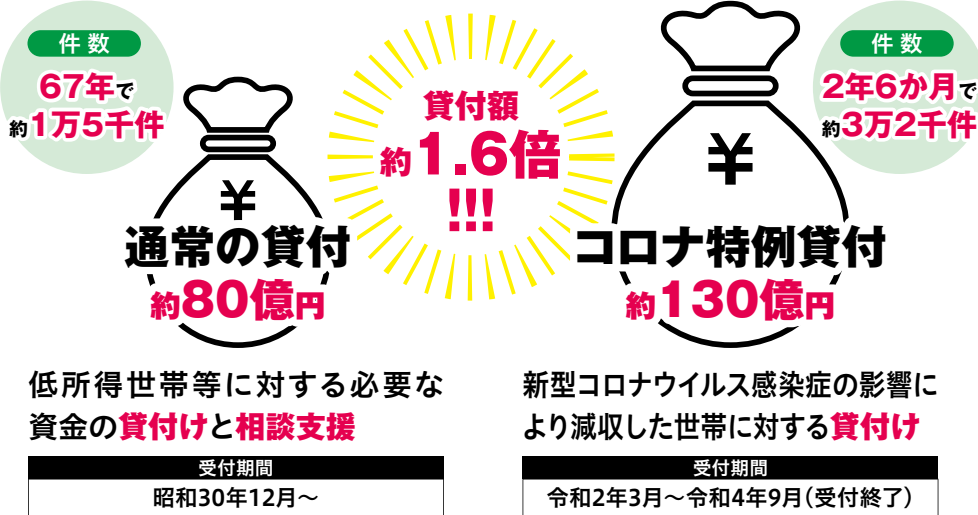
⑦ 情報案内コーナー
⑧ ⑤④③トレジャー
・情報案内コーナー

県社協SNS



コロナ禍における生活課題への取組 「コロナ特例貸付」の成果と課題から社協の役割を考える

生活福祉資金 通常の貸付とコロナ特例貸付の貸付実績



低所得世帯等に対する必要な資金の貸付けと相談支援

新型コロナウイルス感染症の影響により減収した世帯に対する貸付け

通常の貸付から要件が緩和されたことで特例貸付の貸付実績が膨大な件数と金額になりました。

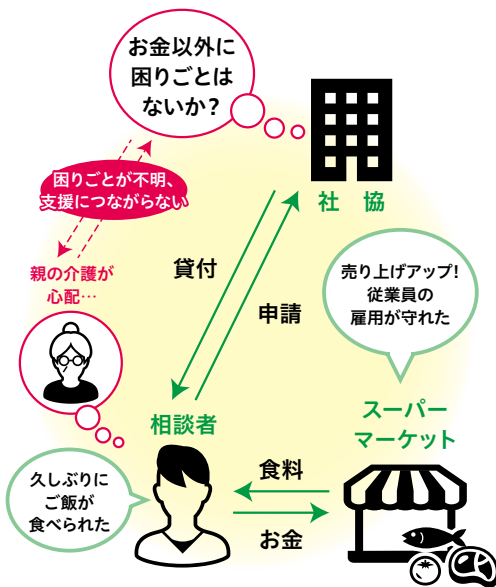
コロナ特例貸付とは
コロナ特例貸付（以下、「特例貸付」）は、令和2年3月から、新型コロナウイルス感染症の影響により減収した世帯に対して、国の特例的な措置として始まりました。当初は約4か月間の時限的な制度でしたが、計10回もの受付期間の延長が行われ、令和4年9月末をもって終了しました。特例貸付は、住民税非課税等であれば、申請により返済免除になりますが、免除の対象にならない方の多くは、令和5年1月以降に返済が始まります。

特例貸付の貸付状況

令和4年11月4日現在

資金種類	貸付上限	貸付件数	貸付金額
緊急小口資金	20万円	11,150件	2,021,961,000円
総合支援資金	単身世帯 月15万円 複数世帯 月20万円	20,893件	10,985,028,500円
合計		32,043件	13,006,989,500円

※総合支援資金には延長貸付及び再貸付を含む



特例貸付の成果と課題(イメージ図)

しかし、国からの指示による迅速な貸付けを優先した結果、世帯ごとの困りごとを把握できていないことが多く、貸付以外に必要な支援があったとしても、取り組むことが難しい状況です。

相談者のなかには、全く所持金のない方やライフラインがストップしている方、その日に食べるものがないという方もいました。迅速な貸付けを実施することで、相談者の命を守り、今後の生活を立て直すきっかけになりました。また、本県の貸付金だけでも約130億円のお金が市場に回り、経済対策の一助になったとも考えられます。

特例貸付の成果と課題

和歌山市社協の取組

県内の特例貸付の約半数が和歌山市社協で受付されたものです。限られた人員のなかで、膨大な借入相談に対して、どのように対応されたのか。また今後の取組について、和歌山市社協地域福祉推進室生活支援班の西山班長にお伺いしました。

Q

特例貸付がはじまった当初の状況を教えてください。

A

これまで経験したことがないほどの相談が入りました。とても担当班だけで相談対応できないため、他部署への応援を要請し、迅速な貸付けが出来るよう社協内の連携を強化しました。

Q

コロナ禍の前と比べ、どのような相談が多かったですか。

A

自営業者からの相談が非常に多かったです。業種は、建築・飲食・サービス等、様々です。どの相談も切実ですが、例えば、タクシーの運転手さんからは、「駅で一日待っていても一人もお客さんが来ない」と訴えがあり、困り果てていました。

Q

様々な困りごとに対して、どのような相談支援をされましたか。

A

社協内で実施している福祉総合相談につなぎました。「お金に困っている」と相談に来られた方でも、お話を伺うなかで、「こころが不安定」「就労支援が必要」「家のゴミが片付けられない」「外国籍のため差別を受けられた」等々、様々な生活上の困りごとを抱えた方がいます。相談支援を行うなかで、貸付けだけでなく、必要な支援や関係機関につなぐことも行いました。また、食料品や日用品の現物給付も行いました。

困っている方とつながることが出来た。これから社協のチカラを活かせれば!

和歌山市社協
地域福祉推進室
生活支援班
西山班長



和歌山市社協で実施した食料給付の様子
次の開催は令和5年1月23、24日です。

Q

今後の取組を教えてください。

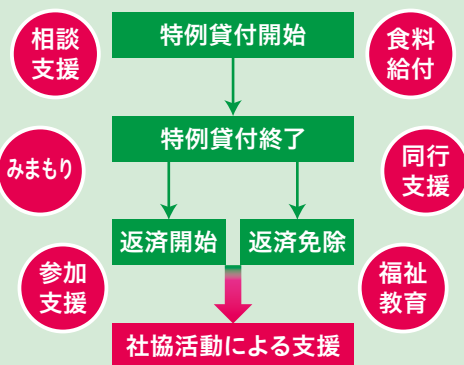
A

特例貸付の返済は、住民税が非課税等であれば免除になります。ただし、返済が免除になったとしても、困りごとが解決していない可能性があります。困っていることがないか、支援を必要としないかを確認するため、返済が免除になった方に対して、手紙や訪問活動をはじめました。ある高齢者世帯を訪問した際、普段あまり人と話す機会がないようで、一時間以上世間話を一緒にしました。「困っている」と声をあげられなくても、生活しづらい環境にいる方やそうなる恐れのある方がいると思われれます。そのような方に対して寄り添っていくことが社協本来の役割だと考えています。

これからの社協の役割

県社協では、地域福祉の推進を図るため、市町村社協、民生委員・児童委員、社会福祉法人をはじめとする多様な機関との連携・協働を一層強化し、「ともに生きる地域社会(わかやま)」の実現をめざしています。

生活課題のある方に対しては、相談支援により支援の方法を検討しますが、生活福祉資金による貸付けは、いくつかある支援策のうちの一つです。貸付中であっても、返済が免除になったとしても、生活していくうえで困りごとのある方に寄り添うことは社協本来の役割です。特例貸付の受付は終了しましたが、支援を止めることは出来ません。社協活動はここからがスタートなのです。



特例貸付から社協活動による支援への移行(例)

参加者募集・参加費無料

令和4年度 和歌山県地域福祉フォーラム ～子どもたちの“いま”と“これから”をみんなで考える～

日時 12月23日(金) 13時～16時
(10時30分からは市町村社協会長会議を開催)

会場 和歌山ビッグ愛 1階大ホール

★オープニング 「ふくしフォトコンテスト2022」入賞作品披露



ご参加
お待ちしております！

(1)開会・オリエンテーション

(2)基調講演「最近の社会情勢と子どもを取り巻く課題」

和歌山信愛大学 教授 わかやま子ども学 総合研究センター長 桑原 義登 氏(和歌山県社協活動計画検討委員会委員長)

(3)シンポジウム【実践報告】

①「里親制度をご存じですか？里親制度の現状と今の子どもたちに必要な支援(私の経験から)」

和歌山県里親会 会長 富松 伸六 氏

②「社会福祉施設が取り組む 地域の子どもの支援 社会福祉法人の地域貢献活動・愛徳こども食堂」

社会福祉法人愛徳園 南部 光 氏

③「縁側のある昔ながらの家で、多世代・地域交流の居場所づくり」ほんまち子ども食堂(和歌山市)

三岩 眞紀 氏

このフォーラムは、一部に「赤い羽根共同募金」の配分を受けて実施しています。

お申込み・お問合せ先 総務企画部 企画班 TEL・FAX:073-435-5224

お申し込みの詳細は県社協ホームページをご覧ください！

第34回全国健康福祉祭神奈川・横浜・川崎・相模原大会 (ねりんピックかながわ2022)

成績結果

「神奈川に 咲かせ長寿の いい笑顔 ～未病改善でスマイル100歳～」をテーマに、神奈川県内26市町39種目において、11月12日(土)～15日(火)にかけて開催されました。

第34回全国健康福祉祭神奈川・横浜・川崎・相模原大会に出場した和歌山県選手団24種目147名の成績結果は、下記のとおりです。

なお、本県から出場した選手は、紀の国いきいき健康長寿祭のスポーツ交流大会、囲碁・将棋大会、健康マージャン交流大会の入賞者及び各競技団体からの推薦者となっています。

(敬称略)

種目	表彰項目		チーム名	選手名
将棋	「り」ブロック	準優勝	和歌山県	宮井 力
サッカー	Lブロック	準優勝	和歌山稔游倶楽部	林 充夫、山本 宏、八木 実、奥野 昌紀、大崎 満雄、柳原 正和、北村 功、是枝 秀明、鈴木 英雄、浪 典嗣、松下 巧、保田 勉、堀淵 和久、川端 徹、板垣 和成、原 敦夫、田端 英樹、坂本 尚平、奥 倫明
水泳	70～74歳(個人種目背泳ぎ25m) 70～74歳(個人種目背泳ぎ50m)	第3位	和歌山県	吉田 可夫
マラソン	60～69歳(5km) 60～69歳(5km)	第4位 第8位	和歌山県	池本 亨 吉川 浩幸
なぎなた	試合競技 団体戦	第5位	和歌山県	榊 倫子、張間 広子、上續 由紀、濱 仁子
弓道	団体戦	優秀賞	和歌山県	田中 克彦、西原 哲男、土井 弘文、西村 有由、西原 照美
インディアカ	男女混合の部 決勝リーグ戦	優秀賞	吉 宗	前田 正治、柳岡 英樹、小池 利三、井谷 美地子、江口 恵子
テニス	第1位グループ	優秀賞	和歌山県	吉村 恵治、津村 純志、東山 信次郎、梅本 吉夫、楠本 智子、久保 ひづる
ベタンク	決勝トーナメント	優秀賞	スマイルあかり	高木 道代、的場 啓二、山東 恵津子、音無 孝夫
囲碁	個人戦	優秀賞	和歌山県	米谷 信一

●最高齢者賞

種目	表彰項目	年齢	選手名
スポーツウェルネス吹矢	男性の部	88歳	中村 雅彦

●高齢者賞

種目	表彰項目	年齢	選手名
ベタンク	男性の部	91歳	音無 孝夫
ソフトテニス	男性の部	85歳	花田 裕多
	女性の部	79歳	吉田 純子
パークゴルフ	女性の部	84歳	小久保 美智子
インディアカ	男性の部	79歳	前田 正治

※高齢者賞・各種目において、最高齢者の次に高齢の男3名、女2名を表彰

お問合せ先

地域福祉部 健康生きがい班

TEL:073-435-5214

シルバー美術展 開催案内

紀の国いきいき健康長寿祭シルバー美術展(兼:第35回全国健康福祉祭えひめ大会(ねんりんピック愛顔のえひめ2023)出品作品選考会)を開催します。

紀の国いきいき健康長寿祭シルバー美術展(兼:ねんりんピック愛顔のえひめ2023出品作品選考会)はアマチュアの方による作品展で、高齢者の人達が日々の生活に張り合いを持ち、生きがいづくりと自らを高めるために創作した作品の発表の場として開催しております。

日本画・洋画・彫刻・工芸・写真・書の6部門ごとに展示いたします。

また、審査会を開催し、部門ごとに優秀な作品を表彰するとともに、愛媛県において令和5年10月28日(土)から10月31日(火)にかけて開催される第35回全国健康福祉祭えひめ大会の美術展に出展する県代表作品を審査会において決定します。



昨年のシルバー美術展の様子

紀の国
いきいき
健康長寿祭
シルバー
美術展

会期 令和5年2月16日(木)～2月19日(日) 10:00～17:00
2月15日(水)は、審査会を行います。
会場 和歌山ビッグ愛 1階展示ホール(和歌山市手平2-1-2)

お問合せ先 地域福祉部 健康生きがい班 TEL:073-435-5214

お問合せ先

県福祉サービス運営適正化委員会
TEL:073-435-5227 FAX:073-435-5584
e-mail:kujou@wakayamakenshakyoo.or.jp

○サービスの内容が契約と違う。
○サービスについてわかりやすく説明してもらいたい。

説明・情報提供

○サービスの改善を要求したが改善されない。
○オムツ交換をもう少しこまめにして欲しい。
○介護の仕方が乱暴で困っている。

サービスの質や量

○職員の間で対応が悪い。
○職員の言葉づかいが悪い。
○職員の言動にとても傷つけられた。
○約束時間や約束ことを守ってくれない。

職員の接遇



相談受付時間
9時～17時
※土・日・祝日等を除く
事務局の相談員が秘密厳守で対応します。

県福祉サービス運営適正化委員会で
ご相談を受け付けています。

■苦情や相談は、各事業所の苦情受付担当者・第三者委員にお伝えしていただくことも可能です。

○自己負担額の内容を説明してくれない。
○不当な自己負担を求められた。

利用料

○預かり金などで金銭トラブルがあった。
○職員にけがをさせられたが説明や謝罪がない。

○職員に暴力を振るわれた。縛られた。
○褥そう(床ずれ)の処置をしてくれない。
○職員に暴力を振るわれた。縛られた。

被害・損害

○あだ名で呼ばれるのが苦痛。
○暴力や虐待を受けている。
○もう少しプライバシーを守って欲しい。

権利侵害

○施設に預けている預金の収支状況や残高を教えてもらえない。

賛助会員を募集しています

本会では、より多くの方々に社会福祉活動・地域福祉活動へのご支援とご理解をいただくため、「賛助会員制度」を設けています。本会の活動趣旨をご理解いただき、ご参画をお願いします。

■賛助会費/1口…10,000円 ※1口から、何口でもご入会いただけます。

ご入会いただくと

- 本会が実施する研修を会員価格で受講いただけます。
- 本会広報誌「福祉わかやま」を送付します。
- その他、本会が主催するイベント等をご案内します。

お問合せ・お申込先

総務企画部 総務経営班 TEL:073-435-5222

ひとづくり まちづくり ゆめづくり

和歌山市 楠見地区民生委員・児童委員協議会の取組 チームで取り組む、楽しく活動するをモットーに



子ども達による地域清掃活動(クリーン作戦)(令和元年撮影)

民生委員・児童委員は、地域住民の身近な相談相手として、支援を必要とする住民と関係機関をつなぎ、地域の見守りや相談・支援等の活動を行っています。

今回は、和歌山市 楠見地区民生委員・児童委員協議会の取組について、同協議会会長の西村重光さんにお話を伺いました。

楠見地区はどのような地域ですか？

楠見地区は、道路の整備とともに人口が増えた地域です。最近の人口増加は横ばいですが、世帯数が増えていることから、核家族化が進んでいると考えられます。

楠見地区民生委員・児童委員協議会の活動は、どんな特徴がありますか？

地域の保育所(園)、小学校や中学校と連携した取組が特徴的です。児童生徒の登下校時の見守りや、子どもたちによる夏休みの地域一斉清掃(クリーン作戦)、夜間パトロールの取組のほか、民生委員・児童委員が学校行事への参加を継続することで、学校との信頼関係が生まれ、お互いに連絡を取り合いながら子どもたちが安心して学び、生活できる環境づくりに取り組んでいます。



夜間パトロール(令和元年撮影)

「継続は力なり。—これらの活動を続けるなかで今の時代の親子の姿を見守りながら、

新たな民生委員・児童委員活動につなげていきます。

地域の方からの相談には、民生委員・児童委員が一人で抱えられない複雑なケースもあります。そんな時、私たちは、関係機関と連携し、お互いに必要な情報を共有して、活動するように心がけています。

何より、住民の困りごとが解決するともてうれしいですね。

また、地域とつながりを持ち、委員同士の交流を大切に、助け合い、よりよいながら無理をしないで活動するよう心掛けています。

民生委員のなり手不足についてはどう感じていますか？

自分の地域を良くするために活動したいという方は、必ずいると思っています。しかし、民生委員・児童委員の活動は大変そう、負担感があるという声があるのも事実です。

地域で活動したいというモチベーションを持って、具体的な行動につなげていただけるよう、やりがいのある活動であることを広報・啓発する必要があると思います。

私も、民生委員・児童委員の活動を続けることで、地域に育てられている一人だと思っています。相談者と同じ目線で相談に応じ、地域の方と肩を組んで活動していけたらいいですね。

お問合せ先

和歌山市民生委員・児童委員協議会 事務局

〒640-0822

和歌山市小人町29和歌山市あいあいセンター
福祉交流館内3階

TEL:073-431-5566

寄付つき商品ののご案内

▼対象商品が大幅増！

(株)オークワ様では赤い羽根共同募金の趣旨にご賛同頂き、毎年寄付つき商品の販売にご協力頂いています。

「2022オークワの冬ギフト」対象商品にて贈り物をして頂く代金の一部が共同募金に寄付されます。大切な方に心つながる贈り物をして頂くことにより、同時にそのお気持ちを地域の福祉の向上に役立てさせて頂きます。ぜひお近くのオークワ各店舗へ！



対象商品はP43~46に掲載。申込は12/20までに店舗にて！

歳末たすけあいスタート

▼地域歳末たすけあい募金

受付期間 12月1日～12月31日

▼NHK歳末たすけあい募金

□受付期間

12月1日～12月25日

□受入口座

紀陽銀行・ゆうちょ銀行他

お問合せ先

社会福祉法人
和歌山県共同募金会

〒640-8319

和歌山市手平2丁目1-2

県民交流プラザ

和歌山ビッグ愛7階

TEL:073-435-5231

FAX:073-435-5232



赤い羽根 わかやま

メール
HP

info@akaihane-wakayama.or.jp
https://www.akaihane-wakayama.or.jp/

申込受付中

福祉人材キャリア形成支援研修

クレーム・苦情対応研修

開催日時／令和5年1月17日(火) 10:25～16:00
会場／和歌山ビッグ愛
受講申込期限／12月23日(金)(必着)

ターミナルケア研修

開催日時／令和5年1月31日(火) 10:25～16:00
会場／ビッグ・ユウ(田辺市)
受講申込期限／令和5年1月11日(水)(必着)

リスクマネジメント研修

開催日時／令和5年2月14日(火) 10:25～16:00
会場／和歌山ビッグ愛
受講申込期限／令和5年1月24日(火)(必着)

福祉職場における労務管理研修

開催日時／令和5年2月22日(水) 10:25～16:00
会場／和歌山ビッグ愛
受講申込期限／令和5年2月1日(水)(必着)

※研修の受講には、受講料がかかります。
※定員(先着)になり次第締め切ります。
※県社協会員は、会員価格で受講いただけます。
※詳細は県社協ホームページをご覧ください。

お問合せ先 県福祉人材センター

「ハートワーク」(県社協内)
TEL:073-435-5210

※新型コロナウイルス感染症の状況によっては、中止になる場合があります。



和歌山県・和歌山市 からのお知らせ 無料低額診療事業のご案内

無料低額診療事業は、医療機関が独自に、経済的な理由により必要な医療を受けることができない方々に対し、無料又は低額な料金で診療を行うものです。

事業内容の詳細やご利用の相談等は、直接、実施医療機関にお問合せください。

実施している医療機関は以下のとおりです。

- 済生会和歌山病院…………… TEL:073-424-5185
- 和歌山生協病院…………… TEL:073-471-7711
- 和歌山生協病院附属診療所…… TEL:073-471-8171
- 芦原診療所…………… TEL:073-423-4349
- 河西診療所…………… TEL:073-451-6177
- 済生会有田病院…………… TEL:0737-63-5561

詳しくは、以下ホームページをご確認ください。

和歌山県福祉保健総務課ホームページ

<https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/040100/d00154432.html>

和歌山市生活支援第2課ホームページ

http://www.city.wakayama.wakayama.jp/kurashi/kourei_kaigo/1007728/1026711.html

令和4年度 介護助手就職相談会

(和歌山会場・橋本会場)を開催します! **受講料無料**

介護未経験の中高齢者等介護基礎研修会・就職相談会

介護未経験者に向けた入門的な研修会を開催します。
介護者としての必要最低限の知識・技術が身に付く内容となり、研修会の2日目には、未経験者でも安心して仕事を始められるよう就職相談会を実施します。
就職相談会への参加も可能です。

受講対象者／県内の介護現場で就労を希望する方・介護や介護の仕事に少しでも興味のある方

定員／20名(先着順)

■和歌山会場

	研修会	就職相談会
日時	令和5年1月14日(土) 9:30～16:20 1月15日(日) 9:30～15:00	令和5年1月15日(日) 15:00～16:00
会場	南コミュニティセンター 3階活動室中1	南コミュニティセンター 4階活動室大・活動室小4・活動室小5

■橋本会場

	研修会	就職相談会
日時	令和5年1月28日(土) 9:30～16:20 1月29日(日) 9:30～15:00	令和5年1月29日(日) 15:00～16:00
会場	橋本市民会館 2階第3会議室AB	橋本市民会館 1階ギャラリー、2階第1会議室

介護未経験者向け
研修会のお申込み
・お問合せ先

県介護普及センター

TEL:0739-22-6589

就職相談会
のお問合せ先

県福祉人材センター

「ハートワーク」(県社協内)

TEL:073-435-5211



高齢者の生きがいづくり
わかやま元気シニア生きがいバンク

豊富な知識や経験、資格や技能を持った高齢者がたくさん登録されています。
地域でのお手伝い、イベントや学習会、学校行事などで活用してみませんか!

人材を探す 活動のご依頼
 バンクへの登録 **WEBで検索!**

わかやま元気シニア生きがいバンク
検索

お問合せ(土・日・祝日を除く、9時～17時まで)
わかやま元気シニア生きがいバンク
☎ 073-435-5214

地域の宝物見つけた!!

ふくし トレジャー

～「ふくし」は「ふだんのくらしのしあわせ」～

このコーナーでは地域のふくしを支え
トレジャー
る宝物(人・物・笑顔)を紹介します。

農福連携で地域貢献



塩づくりの工程で生成される「にがり」も、ミネラルたっぷりです。コーヒー、みそ汁、カレー等にもおススメです。

塩屋の天塩

たいよう ふくしかい
社会福祉法人太陽福祉会
就労継続支援B型
な はな さぎょうしよ
菜の花作業所

住 所：御坊市塩屋町南塩屋450-7
TEL・FAX:0738-23-3267

御坊市の菜の花作業所で製塩される天然塩が評判を呼んでいます。当作業所職業指導員 柏木 克之さんにお話を伺いました。



契機
私たちの町は塩屋町といい、その名のとおり、昔から塩づくりに適した町です。以前から塩づくりには、事業と就労の面で、大きな可能性を感じていたところ、平成9年の塩専売法廃止により、塩の製造ができるようになったことが契機となりました。

連携の力
塩づくりは、御坊市の陸から30mの綺麗な海水を汲み上げ、山の上の製塩所に運ぶところから始まります。続いて三段階の登り窯にその海水を注ぎ、朝6時から薪をくべて焚き始め、徐々に温度を下げながら水分を飛ばし天然塩を作ります。

薪割り・塩炊き・異物のチェック等多くの工程に利用者さん自身がやりたいことを決めて関わってくれます。自然の中にある製塩所で体を動かし、各々が得意な作業を行うことは、利用者さんの心

身にも良い影響を与えていると思います。また、利用者さんの他に、ボランティア・地元の関係団体等多くの方が関わってくれています。海水の汲み上げには漁業関係者、登り窯の製作は有志の方の手作り、火を焚く際に使用する薪は、地元の空き家を解体した際にでる廃材を利用するなど、多くの方と地域の資源に支えられています。互いを尊重し連携を図ることで多くの事が成し遂げられました。

人気です
出来上がった天然塩は、粒子が細かくふわふわで柔らかい味です。また、ミネラル分が非常に豊富なのも特徴です。ありがたいことに、製造が追いつかないほど注文をいただき、地域のパン屋・飲食店でも、この塩が味の決め手になると言われています。

私たちの塩づくりは、手作業で丁寧に行うことを心掛けており、一度に大量生産することはできません。その分、全員が心を込めて製塩に努めています。

塩屋の天塩は、県内の農産直売所「よつてつて」やインターネット等でも購入いただけます。詳しくは、菜の花作業所までお問合せください。

情報案内 コーナー

令和4年度 第2回 外国人介護人材指導者養成研修(WEB)のご案内

福祉関係の事業所で、外国人介護人材の受入を行っている、または今後受入を予定している事業所を対象に、WEBを利用した研修会を実施します(概要は下記のとおり)。

研修会では、外国人介護職員への具体的な指導方法を学ぶセミナーに続き、実際に県内の介護事業所で勤務している外国人介護職員の方数名にインタビューを行い、日本で働いていて楽しいと感じること・大変と感じること等についてお答えいただく予定です。

ぜひ、ご参加のうえ、普段身近に感じる機会の少ない「外国人介護人材」について、学びを深めるきっかけとしてください。

研修に関するお問合せ・お申込みは、県福祉人材センター(073-435-5211)まで。

- 日 時** 令和5年1月31日(火) 13:30~15:10
- 開催方法** Zoomミーティングを用いたオンライン研修会 ※WEB(Zoom)での参加ができる通信環境が整っていること
- 内 容**
 - セミナー/「メンタルヘルスの観点からの職場づくり」
講師/公益財団法人国際人材協力機構(JITCO) メンタルヘルスアドバイザー たちわな みほこ 立和名 美保子氏 他
 - 外国人介護職員へのインタビュー/訪問先:社会福祉法人 紀伊松風苑
- お問合せ先** 県福祉人材センター「ハートワーク」(県社協内)(TEL 073-435-5211)
※時間や内容等が変更になる場合がありますので、予めご了承ください。

参加費
無料



ご寄附ありがとうございます。

株式会社ツルハホールディングス 様
クラシエホールディングス株式会社 様

地域福祉の向上のために、車椅子5台をご寄附いただきました。
心から御礼申し上げます。